



報道関係者各位

2018年11月4日（月）  
NPO 法人日本ブラインドサッカー協会

## 「ブラインドサッカー チャレンジカップ 2018」を初開催 日本はアルゼンチンに 1-3 で敗戦 対アルゼンチン戦で主将の川村怜が日本初得点～1,858 名が来場～

NPO 法人日本ブラインドサッカー協会（JBFA）は、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会（JPSA）と 11 月 4 日（日）に町田市立総合体育館で「ブラインドサッカー チャレンジカップ 2018」を初開催し、会場には 1,858 名が来場しました。ブラインドサッカー日本代表（世界ランク 9 位）は、世界選手権 2018 準優勝のアルゼンチン代表（世界ランク 2 位）と対戦し 1-3 で敗戦となりました。

前半の立ち上がりは日本がアルゼンチン陣地に攻め込み、前半 3 分ゴール前の混戦から粘り強いプレーで川村怜が抜け出し、対アルゼンチン戦で日本初ゴールとなる先制点を奪いました。対するアルゼンチンは、前半終了間際の 19 分に自陣でフェデリコ・アッカルディがボールを奪うと中央突破からディフェンス 3 人をおかし同点ゴールを挙げ、1-1 で前半を終えました。後半はアルゼンチンペースで試合が進み、後半 10 分、17 分にマキシミリアーノ・エスピネージョが追加点を奪い、3-1 でアルゼンチンが日本に勝利しました。MVP には、アルゼンチンのマキシミリアーノ・エスピネージョが選ばれました。



※写真は「<https://jector.jp/dl/devngNSkd51APKWXXKVSYLHKg>」から DL できます。

会場には、JPSA 鳥原光憲会長、アルゼンチン共和国エルナン・アオン二等書記官が来場しました。ブラインドサッカーの試合だけでなく、チアリーダーや、ブラインドサッカー体験会、各種啓発ブースなども併催して開催されました。また、JBFA 初の試みとして、本大会会場の体育館のフロアに人工芝を敷き詰め実施しました。

JBFA は 2020 年の東京パラリンピックでのメダル獲得を目標としており、今回の経験をもとにさらなる高みを目指す、ブラインドサッカー日本代表を今後とも、応援よろしくお願いたします。

### 高田敏志監督 コメント

ボールが前に入るようになり、点を取るチャンスもあった。前半先制したあと日本の攻撃ラインが下がったのは、「守れ」という指示を出すと下がってしまう傾向が日本人にはあり、その部分に関してマネジメントを実行できなかった。ただ、前回対戦した時は、サイドにふられていたが、今日の試合はその部分を防ぐことができ、相手のやりたかったことをさせなかった。マキシミリアーノ・エスピネージョに関しては、ブラジルのリカルドと並ぶ世界的選手で、ラグビーのようなパワープレーで個の力で点を決められた。

### 川村怜 コメント

試合には負けてしまったが、前半 1 点先制し、リードできたことはポジティブに捉えたい。奪われた 3 点は防げるゴールで、世界トップレベルとの差と課題を感じた。1 点目の先制ゴールは、相手が寄せてきているのを感じたが、右足でふりきった。マキシミリアーノ・エスピネージョは、自分が出ている時間に確実に仕事をする世界トップレベルの選手。試合データの分析から右サイドがストロングポイントだとみていたが、1 点目は左サイドに侵入され得点された。ゴールへの執着心も世界トップレベルだと感じた。

●過去試合との比較データ

対アルゼンチン

<対象試合>

2014年：4カ国対抗国際親善試合 2014年9月4日 フランス・パリ 0-1 (1回戦総当たりのリーグ)

2018年：チャレンジカップ 2018 2018年11月4日 日本・東京 1-3

局面	データ項目	2014年	2018年	集計定義および補足
攻撃	パス数	37	87	キーパーからのパスを含む
	パス成功数	16	46	キーパーからのパスを含む
	ゾーン① 攻撃(進入)回数	19	19	ゾーン②③からゾーン①へ進入してボールを触った回数
	シュート数	7	10	相手選手(キーパー以外)にブロックされた場合も含む
守備	ゾーン① 守備チャレンジ回数	4	16	ゾーン①でボールを奪える距離までアプローチした回数
	ゾーン① ボール奪取回数	0	2	
	ゾーン② 守備チャレンジ回数	31	35	ゾーン②でボールを奪える距離までアプローチした回数
	ゾーン② ボール奪取回数	4	8	
	ゾーン③ 守備チャレンジ回数	65	42	ゾーン③でボールを奪える距離までアプローチした回数
	ゾーン③ ボール奪取回数	4	17	
切替	ルーズボール発生回数	122	138	ルーズボール後もプレーが続いたシーンに限定
	ルーズボール後マイボール率	29%	43%	上記のうち日本がボールを確保した割合
	ルーズボール ゾーン①確保回数	2	9	ゾーン①で日本がルーズボールを確保した回数
	ルーズボール 相手フリー確保回数	52	27	相手選手がノープレッシャーで確保した回数

※速報値

データ集計：  Data Stadium

本件に関するお問い合わせ

特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会 事務局

E-mail: [media@b-soccer.jp](mailto:media@b-soccer.jp)

協会ウェブサイト: <http://www.b-soccer.jp/>

住所: 〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27 ペアーズビル 3階

電話: 03-6908-8907 FAX: 03-6908-8908